ふるさと(霞ヶ浦を中心とした周辺地域)の歴史・文化の再発見と創造を考える

ふるさと



第149号(2018年10月)

風に吹かれて (126)

白井啓治

秋に秋風の吹いてこの里の秋

と感じるかはそれぞれの立場によって異なるだろと感じるかはそれぞれの立場によって異なるだろと感じるかは表でくる四季は昔から言われている四季の顔とは大てくる四季は昔から言われている四季の顔とは大てくる四季は昔から言われているのだから、人間の島がもたらす温暖化とは関係なく、太陽の光のら一定の軌道で太陽を一周するのだから、人間のら一定の軌道で太陽を一周するのだから、人間の島がも見いる。一年をかけて自転しながえてくるとホッとする。一年をかけて自転しなが見、異常気象と言われていても、季節の移ろいが見

ていると言える。
ち、地球上の生物は常に環境変化の危険に晒されら、地球上の生物は常に環境変動もあるわけだか変動や火山の噴火による気候変動もあるわけだか大いに嘆かわしいが、巨大隕石の落下による環境を動は人間のもたらした温暖化などによる環境変動は

ようになったのか、実に不思議である。
う。一体どのような進化を経て漆黒の海底に棲む指に八百キロの重りを載せるに相当するのだとい出ていた。七千五百メートルでの水圧は、人の小出の深海で新種の魚が発見されたと、その写真がルの深海で新種の魚が発見されたと、その写真が上りになった。

いだろう。
けての好奇心も旺盛にあることを忘れてはいけな地球生物の進化や適応に関しては、地球自身へ向へ向けられているように個人的には見えるのだが、へ同けられているように個人的には見えるのだが、

られる。

太陽のもとに多くの生物が生行動をとっているとのであるが、生涯、光の存在を意識しない、あるのであるが、生涯、光の存在を意識しない、ある本陽のもとに多くの生物が生行動をとっている

は愚かとしか言いようがないだろう。 識にとらわれて知的好奇心を閉ざしてしまうこと可能性は無限大に広がっているのに、狭すぎる見い選択肢しか持たない自分が哀れに見えてくる。行われている事実を見る時、あまりにも小さく狭およそ人知の及ばぬ環境下で、種の存続活動が

そうなると、他人事の様に傍観していた本土の人時でなると、他人事の様に傍観していた本土の人当選した。沖縄の民意は示されたが、移設を進め当選した。沖縄の民意は示されたが、移設を進めようとする政府との対峙する構図はますます厳しようとする政府との対峙する構図はますます厳しいものとなるだろう。次には、沖縄の基地全廃にいきのとなるだろう。次には、沖縄の基地で、米軍普天が行われ、故翁長沖縄県知事の急逝による知事選り月30日、

このことは、日本が牛尾になるか自立した鶏頭にきが真剣に考えざるを得なくなるだろう。だが、きが取れなくなり、国民もどう結論を導き出すべきな取れなくなり、国民もどう結論を導き出すべ来国との安保を含めた外交問題で現政府は身動達には否が応でも真剣に考えざるを得なくなる。

なるか将来設計にとっての重大事として、

る良いチャンスであろうと思う。

中蝿はもともと流球という虫立国家であったの立した葛藤を持つことがなかったと言える。私を含めて日本人の多くが、国の将来に対して自私を含めて日本人の多くが、国の将来に対して自

関心であり傍観者であったと言えよう。 土の日本人の多くは、沖縄の歩みに対しては、無か縄県となった。それからは沖縄県民は、日本へが縄県となった。それからは沖縄県民は、日本へだが、明治12年に日本の統治下に組み入れられ、本

れなく響いてきた。

戦争戦後の沖縄県民の葛藤が、身につまさながら、白川道の「神様が降りてくる」を読み返く書かれている。玉城新沖縄県知事の演説を聞き沖縄県民の深層にある思いが恋愛・推理の中によ沖縄県民の深層にある思いが恋愛・推理の中によ川道の「神様が降りてくる」という小説があるが、川道の「神様が降りてくる」という小説があるが、川道の「神様が降りてくる」という小説があるが、

9月末の、当会の月例で、歳をとると昔はよか9月末の、当会の月例で、歳をとると昔はよかり日はいらない。 番は、基本的には今の方が良いと考える。自た。私は、基本的には今の方が良いと考える。自分を振り返って考えると、昔の方が良いと考える。自分なる、という。希望の見えない、 歳をとると昔はよかり日はいらない。

るさいが、無視できないのは、紳士面をした大人 れて、暴走している現状が問題 済界の重鎮が、物の道理を弁えず、独善主義に溺 の暴走族だ。国の舵取りを任されている政治・経 この世には暴走族が多過ぎる。爆音バイクはう

ておくが、以下、全てが…というわけではない)。 権を求め、世界のリーダーになろうとする。(断わっ 世界の大国とかいう無謀の夢を抱き、競って覇

られる現実は悲惨だ。 て目が覚めない輩。こんな暴走族が、わんさとみ を絶滅に追い込んで、万物の霊長とか、うぬぼれ し、環境を汚染しても、反省をしない。他の生物 経済界では物造りに奔走。利を求め資源を枯渇

エンスが取るべき行動ではない。 類が全て使い果たそうとしている。智慧あるサピ 子孫にも共有権がある筈なのに、今生きている人 なにが経済大国だ。限りある地球資源を浪費し、

世界のリーダーを目指すなら、もう少し紳士的に 振舞え!と強く言いたい。 こまで来たか?これじゃ、ガキの喧嘩と一緒だ。 ほしい。米中の関税摩擦・経済戦争も、ついにこ もある。孫悟空も怒って、何か鉄槌をくらわして なんと月面までも先着領有権を主張する貪欲な国 更には南極の領有権を主張するだけではなく、

な事を繰り返す愚かな社会構造に我慢ができない。 の経済第一主義が齎(もたら)した数々の公害。こん ドミューム中毒のイタイイタイ病など、人命無視 住みにくい環境を子孫に残すほど、罪深い事はな い。鉱山毒で草木が枯れ、水銀中毒の水俣病・カ 21世紀にもなるのに、なぜ目が覚めないのか。 我が国も、決して褒められた状況ではない。

類も、怪獣となり滅びていくのか?

やめた方が良い。更に男性のY染色体は女性のX そして近代産業発展の負の遺産(化学物質)により、 査も受けず、責任を妻に擦り付ける亭主関白は、 子異常によるものだという。沽券に係るとして検 八間の活力が次第に脆弱化している。 ある不妊要因検査報告によると、丁度半数が精

染色体の10分の1ぐらいに縮小。哀れなる「雄」

は、この世から消え去るのか?

悔もない世紀末の人類の姿に心が痛む。 燥の世界に突入したいのであろうか? 反省も懺 る。人類もその末席にでも座ろうとしているの 雄無しでも子孫を残している生物は、いくつもあ か? 文学も芸術も、「恋」など関係ない。無味乾 霞ケ浦のギンブナじゃないが「雌性生殖」とか、

世界に兵器を売りまくって、富をなす国もある。 われる人類の、あってしかるべき姿なのであろう 年8500万人ずつ増えている。 今世紀半ばには うが、むやみやたら子を沢山産み過ぎる。地球の 題。一方発展途上国では、食糧があろうがなかろ ができないだろう。増えすぎるのは勿論、大変困 婦で最低2・5人位、子を生まないと、人口維持 ンモス・ナマケモノ(*1)等々。頭デッカチの人 紳士面をして世界平和を唱えながら、裏面では、 な生物。世界平和など、絵に描いた餅に過ぎない。 る。人間とて、単純な動物本能に支配される哀れ か。過剰人口は、必ず縄張り争いから戦争に繋が 100億人に達するとか。これが万物の霊長と言 る。しかし、なし崩し的に減っていくのも重大問 数も減り、女性は十分に子を産まない。一組の夫 人口収容能力は50億人。現在すでに約75億人。毎 文明国ほど、若者がロクな精子も造れず、産児 巨大化した生物は大方滅びていった。恐竜・マ

> 6点、体重3~)が生存していた。】 米にエレモテリュームという巨大ナマケモノ(体長 葉を食べず、哺乳類では珍しい変温動物。基礎代 姿は、木のコブに見える擬態。1日8%ほどしか め、めったに木から降りない。ぶら下がっている 超のろま動物。ジャガー・ピューマに襲われるた 地上に降りるのは排泄の時だけ。南米に生息する 睡眠・交尾・出産は全て木にぶら下がって行う。 謝量が非常に少ない。しかし1万年前までは、南 【(*1)現生のナマケモノは体長75㎝。

思議に思えてならないらしい。 日本に長く住む外国人から見たら、なぜに日本人 には、こんな悪癖が常態化しているのだろうと不 さて日本の舵取り役の「暴走」についてだが、

造ったのか? 民双方に補償金を支払わされている。国民の税金 裁判に負け、水門を閉じても開いても、漁民・農 触れたが、「諌早湾の水門」問題。現在、 きな花火をぶち上げたいらしい。これまで何度も 必需の案件かどうかよりも、とにかく華々しく大 家予算の分捕り合戦だ。なにか大きな事業を遂行 を無駄にして、なぜにこんな問題の多い構造物を しなければ、能無しと判定されるためか、緊急で が、生き残ればよろしい…とする態度。まずは国 まず官僚だが、国家はどうなれ、我が省庁だけ 国は悉く

だ。野党は自分達に有利でなければ大方反対。国 と多数決ですぐ可決。衆議院ではなく「衆愚院」 算は組み立てられる。そして予算額を確定するの に少ない。官僚が造った原案を議員は、ハイ賛成! は国会である。しかし議員立法の案件など、非常 大きな事業が遂行できる。何事も対前年比で、予 大きな予算を獲得すれば、次年度もその枠内で、

みじみ感じさせられる。 真っ先。民主主義の根幹が、いかに貧弱かと、しや国民が第一ではなく、我が党に有利かどうかが

4218人が駐留している。 98万1084㎡に、米軍・軍属合わせて、9万米軍専用・日本軍との併用合わせて128施設、 いうのに、現在日本駐留米軍は13都道府県に、 憲法さえ自分の手で作れず、戦後73年も経つと

*

国は巨大な借金を積み重ねた。 後継者がなく整理した農地は耕作放棄。こうして 設費を継続している。卑近な例だが国は多大の補 の借金を背負っているが、それでも政府は無駄な の借金を背負っているが、それでも政府は無駄な

ツケを回しては、絶対にいけない。 必ず作った本人が自力で返すべきもの。次世代に そんなに票が欲しいのか? 借金というものは、

で、清廉なものと思いがちだが、最近マスコミで大人の暴走族はまだまだいる。スポーツは純粋

べき行為が多すぎる。 動物を関するでは、真によろしくない。恥ずのが、な神のか? 教育上、真によろしくない。恥ずのがス。体操やアマボクシングのボス等々、真に真に醜い。女子アマレスリングや日大アメフト部話題になったコーチや監督などのパワハラ問題は

更に大企業の製品検査などでは、隠ぺい・捏造をと、あれほどの大企業が、なぜに国家基準を冒いないことを保証するから、人気が高いのであろいないことを保証するから、人気が高いのであろいないことを保証するから、 大気が高いのであるなど論外である。

とする姑息な義務違反。腐った暴走族だ。障害者ではない人を障害者として水増し雇用した更に障害者雇用問題は肝心の国の各省庁でさえ、

*

次に、外国人が異様に感じるのは、学校教育が大に、外国人が異様に感じるのは、学校教育が大い。芸れる等。物理学者なら、奇想天外な発想から、生まれる等。物理学者なら、奇想天外な発想から、生まれる等。物理学者なら、奇想天外な発想から、生まれる等。物理学者なら、奇想天外な発想から、生まれる等。物理学者なら、奇想天外な発想から、生まれる等。物理学者なら、奇想天外な発想から、生まれる等。物理学者なら、奇想天外な発想から、生まれる等。物理学者なら、奇想天外な発想から、生まれる等。物理学者なら、奇想天外な発想から、生まれる等。物理学者なら、奇想天外な発想から、生まれる等。物理学者なら、奇想天外な発想が標準的」が無難に反した洗脳教育の結果が、第二次大戦の無違に反した洗脳教育の結果が、第二次大戦の無違に反した洗脳教育の結果が、第二次大戦の無違に反した洗脳教育の結果が、第二次大戦の無違に反した洗脳教育の結果が、第二次大戦の無違に反した洗脳教育の結果が、第二次大戦の無違に表にないる。

政治家の任務は、国民の安定的生活を保証し、

内外とも安全性を保障する事であろう。その為に内外とも安全性を保障する事であろう。その為に対ったいるのであるが、日本は外国のスパイにとって、別々としているのがあるが、日本は外国のスパイにとって、別々としているように見える。 更に報道のりに全力投球しているように見える。 更に報道のりに全力投球しているように見える。 一体「愛国人だらけ。とても無防備なのだそうだ。更に報道のとけ売りであるが、日本は外国のスパイにとって、受け売りであるが、日本は外国のスパイにとって、別々とも安全性を保障する事であろう。その為に内外とも安全性を保障する事であろう。その為に

害救援には、ただただ感謝あるのみ。ただドブに捨てるようなもの。ただし自衛隊の災活向上には何の役にも立たない。貴重な財源を、軍事に多大の財源を注ぐほどアホな事はない。生世界的には、軍事優先の愚をいかに脱却するか。

ならば世界の安定をいかにして維持するか。私ならば世界の安定をいかにして維持するか。 では、認知症が大分進んでいると思われるかもしたが、認知症が大分進んでいると思われるかもしたが、認知症が大分進んでいると思われるかもしたが、認知症が大分進んでいると思われるかもしたが、認知症が大分進んでいると思われるかもしたが、なんと云われようが、これが私の理想的世界像。

務係長」「財務係長」とか。総括する親分は、「地何やら分掌事務が必要なら「係長」で十分だ。「外みつき、甘い汁を吸おうとする輩もいなくなる。」国家がなければ総理も大臣も不要。それにしが

- trottoの「です」では「されていません」である。国境線はない。地方とかアメリカ地方とか。国境線はない。方総括」ぐらいで十分。世界国家の中に、旧日本

夢のような話だが、21世紀を迎えた新時代の頭とは?…主は国民でなければならない。「君に使える家来」という意味らしい。ならば「君」そもそも「大臣」の「臣」とは何か? 臣とは

意が今から必要である。 脳なら、それくらいの事は、成し遂げる準備・決勝なら、それくらいの事は、成し遂げる準備・決

*

世が世なら17代将軍?」 場が逆だったら、こちらが薩摩藩主を引き渡せと ら、次の5項目を呑めと迫ってきたが、山岡は、 る。西郷殿と話がしたい…』と制止を振り切って 体を繕い『朝敵徳川慶喜の家臣山岡鐵太郎でござ 飯が食える世の中にしたい…その一点に絞って新 会長を務める社団法人の専務理事を務めていた。 海舟と西郷との江戸城無血開城の会見の地ならし 慶喜は上野寛永寺に謹慎という事で、最終的に勝 しつけたという。山岡の迫力に西郷は引き下がり、 きない事を人に求めるものではない!』と、どや 言ったら、あなたそれを呑めますか? 自分にで 無条件引き渡せとの件に関しては、『西郷さん、立 武力放棄など4項目は承知するが、最後の慶喜を 前へと進む。西郷は、江戸城無血開城したいのな 貧困で二本差しがなく、友人から借りて、武士の 単身乗り込んで行くが、剣術師範でありながら、 河まで攻めて来た時、山岡は敵陣真っただ中へ、 しい世の中を造ろうとした。西郷率いる官軍が駿 は成立。

[私は県退職後、慶喜の孫 いう豪胆ぶり。ただ単に国民の誰もが、しっかり いわれる。ともに金銭・権力・命さえもいらぬと った山岡鉄舟(尊攘派幕臣)の二人で成し遂げたとも 明治維新は西郷隆盛と後に初代茨城県知事とな (徳川宗信) が

ではなかった。官僚主義が主体。 政治家ならこういう豪胆で単純明快な行動が必要。山岡は貧困者を救うために、幕府高官ながら要。山岡は貧困者を救うために、幕府高官ながら要。山岡は貧困者を救うために、幕府高官ながら要。山岡は貧困者を救うために、幕府高官ながら

知的財産権侵害は超重罪だ。 を制限しようとしているらしい。中国の常套的な 中国政府は、これはまずいと考え、日本への旅行 認識を変えなくちゃ…と盛んに言われるとの事。 やさしく礼儀正しい。しかも非常に勤勉である。 質は極めて良好。至る所、綺麗で、人々はとても や従軍慰安婦問題を過大加害報告した論文を基に、 やないか…』と盛んに言われるという。 商品の品 れ、『日本人って、そんなに悪い人だけではないじ ネスコの歴史遺産に登録しようとさえしている。 文が明らかな捏造と分かり、大新聞も謝罪訂正し 観は外国人には理解できないとの事。今はその論 れが今日、中韓の反日運動の根拠。こんな自虐史 何年間も過去の日本軍部の汚点を書き続ける。こ な大新聞までが、ある歴史探究者の南京虐殺事件 のか? という事だそうだ。日本を代表するよう スコミは、なぜにこうも反日的言論を撒き散らす ているが、韓国や中国は、日本の過去の行為をユ 最近、韓国・中国からの観光客が多数日本を訪 次に外国人が、真に訝しく思うのは、日本のマ

曲解を訴え、真の国交改善に努力すべきだ。日本政府も、国連などに働きかけ、歴史認識の

*

特に日本・欧米・中国は、プラスチックを大量生みの減量に、全知全能を傾けるべきである。 さて、日本企業はじめ全世界はプラスチックご

産・消費しているので、責任は重い。

見えである。 報道によれば、世界の河川や海岸には、半永久 報道によれば、世界の河川や海岸には、半永久 をおい事態に陥る可能性がある。それを怠ると、 上常生活に欠かせないプラスチックではあるが、 田・コップ・スプーン・ストローなど食器類。今や 田・コップ・スプーン・ストローなど食器類。今や 田・コップ・スプーン・ストローなど食器類。今や 田・コップ・スプーン・ストローなど食器類。今や 田・コップ・スプーン・ストローなど食器類。今や 関対を膨らませた人類のなれの果てが、見え がある。

具体的には微生物→小魚→大きな魚の生態系を具体的には微生物→小魚→大きな魚の生態系を見近に追った。こんな状態が続けば、海産資源は途絶え、極た。こんな状態が続けば、海産資源は途絶え、極た。こんな状態が続けば、海産資源は途絶え、極いっぱい詰まっていたというニュースがあった。

*

のが、報道によると「3R」の実行である。全世界が時間をかけて、必ず実行せねばならないならばどうするか? 瞬時の対応策はないが、

にも呼びかけ、地球の未来に深く心する事。世界るためには、まず身の回りを清潔にする事。世界日本が成熟した文明国として世界から認識され

地域に眠る埋もれた歴史(43) 木村 進

〈多気大掾から吉田大掾へ〉常陸(多気・吉田)大掾氏

氏という氏族は戦国末期の佐竹氏による常陸国統 うに続いていったのか時代背景などを含めて考え されていません。でも歴史としてはこの常陸大掾 と)の家系については消息を含めあまり資料は残 ました。その後の多気義幹やその子の茂幹(しげも あった常陸大掾氏としての系列がとだえてしまい れてしまいました。これにより関東平氏の頭領で 町)に身柄を預けられ、北条などの所領も没収さ た駿河武士である岡部泰綱(現静岡県藤枝市岡部 失脚となり、鎌倉幕府の中心的な役割を担ってい う

八田知家(

小田氏の祖)の

換言により、

頼朝により とを書きました。義幹は1193年に大掾職を狙 をつとめていた多気太郎こと平義幹(よしもと)のこ てみたいと思います。 一の時までこの後300年続いています。どのよ 先月号で北条の多気にて常陸大掾(だいじょう)職

なったのでしょうか?
多気氏が失脚して常陸国の大掾職はどのように

> ハます。 に係わる大切な文書で大変貴重なものといわれて

記録によるとそれは1214年に鎌倉幕府から吉田資幹(すけもと)が常陸国府中の地頭に任命されたのがスタートのようです。この前に鎌倉では頼たのがスタートのようです。この前に鎌倉では頼たのがスタートのようです。この前に鎌倉では頼たのがスタートのようです。この前に鎌倉では頼いたという常陸国の大掾職ですが、そんなに美味をつとめている小田氏ではなく水戸の吉田氏を選をつとめている小田氏ではなく水戸の吉田氏を選をつとめている小田氏ではなく水戸の吉田氏を選が必要があったのかもしれません。恐らく吉田氏を多うまく使えば当時この地域を安定させられるという思いが鎌倉幕府にあったのではないかと考えられそうです。

代ほど続いたということになります。 氏となってから1590年に滅びるまで15~16 旦終わり、20年ほどの空白期間があり、吉田大掾 ら始まった常陸大掾氏は約200年間・6代で一 従って平国香から引き継ぎ、多気維幹(これもと)か

吉田大掾)

きましょう。
では吉田大掾氏とはどんな人物なのかを見て行

六代多気大掾氏である平 (多気) 義幹 (よしもと) の曽

祖父である三代多気大掾氏の繁幹(しげもと)の次男祖父である三代多気大掾氏の繁幹(しげもと)の次男祖父である三代多気大掾氏の繁幹(じげもと)の次男祖父である三代多気大掾氏の繁幹(じげもと)の次男祖父である三代多気大掾氏の繁幹(じげもと)の次男祖父である三代多気大掾氏の繁幹(じげもと)の次男祖父である三代多気大掾氏の繁幹(じげもと)の次男祖父である三代多気大掾氏の繁幹(じげもと)の次男祖父である三代多気大掾氏の繁幹(じげもと)の次男祖父である三代多気大掾氏の繁幹(じげもと)の次男祖父である三代多気大掾氏の繁幹(じげもと)の次男祖父である三代多気大掾氏の繁幹(じげもと)の次男祖父である三代多気大掾氏の繁幹(じげもと)の次男

水戸の吉田氏は清幹―盛幹(長男)―家幹(次男)―水戸の吉田氏は清幹―盛幹(長男)―家幹(次男・すけもと)と家系を継続してこの資幹(旧後大掾職を継承して常陸大掾氏とも言われています)が鎌倉幕府から府中(現石岡)の地頭を任され、そのが鎌倉幕府から府中(現石岡)の地頭を任され、そのが鎌倉幕府から府中(現石岡)の地頭を任され、その資幹(日本)の古田氏は清幹―盛幹(長男)―家幹(次男)―

常陸国を統一した佐竹氏が誕生します。では、常陸国において大掾職というものがそんでは、常陸国においてします。この頃やってきたのが常陸源氏の祖といわれる新羅三郎義光です。たのが常陸源氏の祖といわれる新羅三郎義光です。たのが常陸源氏の祖といわれる新羅三郎義光です。に居を構えたようですが、この地はすでに水戸吉に居を構えたようですが、この地はすでに水戸吉に居を構えたようですが、この地はすでに水戸吉に居を構えたようですが、この地はすでに水戸吉に居を構えたようですが、この地はすでに水戸吉に居を構えたようですが、この吉田氏のバックにより佐竹郷(現常陸大田市あたり)で勢力を拡大して後にり佐竹郷(現常陸大田市あたり)で勢力を拡大して後にり佐竹郷(現常陸大田市あたり)で勢力を拡大して後にり佐竹郷(現常陸国において大掾職というものがそんでは、常陸国を統一した佐竹氏が誕生します。

と絡み合っていて理解に苦しみますね。 に敗れて、 次男・義清(武田冠者)とともに住み、 さて、大掾職を継承し、常陸大掾氏 (勝田)

しかし、 歴史ってなんだか複雑で、特に男女の関係になる 源義光はひたちなか市 甲斐に移って甲斐武田氏となります。 鹿島領地争い 0 武田郷に

にやってくるという二重生活が続いていったよう た自らの領地は守り、政務を執るために府中(岩岡) 継承した水戸の吉田氏ですが、水戸城を中心とし (平氏) をも

吉

みもと)

と成りました。

平国香 常陸大掾氏系図 <mark>貞盛</mark> (養子) 繁盛 (常陸平氏) (多気大掾) 維幹 為幹 常陸源氏 源義光(新羅三郎) 致幹 (吉田氏) 直幹 成幹 成幹 忠幹 源義清 (行方氏) (鹿島氏) (甲斐武田氏) 昌義 義幹 家幹 (佐竹氏) (1193年失脚) (吉田大掾) (1214年府中の地頭となる) (1350年頃府中城築城) (1426年水戸城を失う) 義重 清幹(1590年府中城炎上、滅亡)

多気大掾氏: 平国香の孫の平維幹が西暦 990 年頃に現在のつく ば市北条に移って多気山に城を構えた。 それから 200 年この地で 勢力を拡大していった。1193年に頼朝に鎌倉に呼び出されて失脚・ 領地没収された。

吉田大掾氏: 多気大掾氏の血統を引き継いでいる水戸に進出し ていた常陸平氏の吉田資幹に 1214 年に常陸国府中(国府:石岡) の地頭職の任が下り、常陸大掾職もその後得て、大掾氏を継承。

りに城もあったものと考えられます。そんな生活 めました。代々大掾氏は名前の中に「幹(もと)」を をたて、詮の一字を賜り名前を詮国(よしくに)と改 田資幹(すけもと)から数えて8代目の吉田文幹(ふ が150年近くも続いたようです。 茨城廃寺辺りにあり、 だったと思われます。 もちろん誰か協力者を府中に置いて時々通う程度 入れていますが、系図では一人入っていない名前 は、2代足利将軍義詮(よしあきら)に従い功 でももともとの名前は「文幹」 その後外城と呼ばれるあた その当時の政務場所は今の そんな中、

ます。継承したのは満幹の孫とも言われる清幹(き を追われても、この府中城でまた大掾氏は復活し している堅城であったといわれています。 だったのです。これは国府そのものが城の形体を われた名古城です。 前の朝鮮半島や中国に向けた優れた防衛の城と 衛の城であり、 北地方の蝦夷に備えて大和朝廷が置いた強固な防 奥の多賀城、 穂で書いた「謫居童問(たっきょどうもん)」には、 出てくる山我流兵法の生みの親 城だったようです。赤穂浪士の事件でよく名前 り水戸城を攻め取られてしまいました。 り続けていましたが、1426年の府中の青屋祭 も勝っていた吉田大掾氏は水戸の明け渡しを拒否 うですが、その次の満幹(みっもと)の時に起こった 初のうちは室町幕府と強固な関係を築いていたよ 地で勢力争いも頻繁に起こっていたようです。最 学校の台地に立派な府中城を築き、 いは戦国末期まで続きました。そしてついに佐竹 よもよ)です。その後5代ほど大掾氏は継承され てしまいそうですが、この府中城はかなり優れた しまいました。普通ですとここで大掾氏が途絶え 満幹とその息子は鎌倉に呼びつけられて殺されて 江戸氏に与えられたのです。 しかしまだ権力も力 す。そして水戸の領地と城を没収されて、これが 古城と書かれているようです。 陸奥の多賀城は に出かけて城を留守にしていたときに江戸氏によ 上杉禅秀の乱で上杉方に付いて敗北してしまいま この時吉田大掾詮国は昔国府のあった現石岡 水戸城に居座りました。 それから 10年程居座 小田氏、 筑前の怡土 (いと) 城と並ぶ日本三名 時は初期の南北朝時代であり、 筑前の怡土 (いと) 城は奈良時代以 江戸氏、佐竹氏などとの領地 それと並び称されるほどの城 「山我素行」が赤 そして、 陸

の南方三十三館の城主が佐竹氏に呼びつけられて、 大掾氏族の城はなくなりました。なお芹沢氏など 知行を保障されていたのです。これでほとんどの 知行を保障されていたのです。これでほとんどの なうにこの呼び立てに行かなかった一部の氏族 のようにこの呼び立てに行かなかった一部の氏族 のようにこの呼び立てに行かなかった一部の氏族 のようにこの呼び立てに行かなかった一部の氏族 にあったようです。この時に滅ぼされていたら幕 はあったようです。この時に滅ぼされていたら幕 にあったようです。この時に滅ぼされていなかった があったようです。この時に滅ぼされていたら幕 はあったようです。この時に滅ぼされていたら幕 にあったようです。この時に滅ぼされていたら幕 はあったようです。この時に滅ぼされていたら幕 はあったようです。この時に滅ぼされていなかった

私の学んだ労音の歴史から… 木下明男

私は1965年労音運動(職場サークルを主体とした音楽運動) 私は1965年労音運動(職場サークル活動に誘われたのでした。サークルの光学工業株式会社に勤めていた。そのころ職場や会社、社会の諸に身を投じた。まだ2代の前半で東京の品川区大井町にある日本にまを投じた。まだ2代の前半で東京の品川区大井町にある日本にまた。

始めた。その時に学んだテキストから。各地域から集まった若者たちが「東京労音学校」に参加し、勉強を労音時代に学んだ音楽運動の歴史を思い起こしてみた。東京の

第四期(1965年~1970年)

労音運動の昂揚と後退

点を迎えた。しかし、労音運動や他の民主的な諸65年まで着実な前進を示し全国的にも一つの頂は、その後の東京労音の諸活動にも反映し、19「労音運動の基本任務」と「10万人の労音運動」(1)第一次二ヶ年計画と東京労音の停滞

を を を でいる「アカ攻撃」を徹底して職場の中で勤労者 でいる「アカ攻撃」を徹底して職場の中で勤労者 に加えるだけでなく、「恐るべき労音」とか「仮想 集団」といった単行本、週刊誌などのマスコミを 連じて、大々的な反労音キャンペーンを広げてき のでなく創価学会の「民主音楽協会」が労音 にかりでなく創価学会の「民主音楽協会」が労音 にあるが特徴的です。1963年には、音協 にあるが特徴的です。1963年には、音協 にあるが特徴的です。1963年には、音協 にあるが労産を にあるが対象を になるが労産を になるが対象を になるが労産を になるが労産を になるが労産を になるが労産を になるが労産を になるが対象を になるが労産を になるが対象を になるが、 にななななが、 にななななななななななななななななななななななななななななななななな

風潮が巧みに持ち込まれた。

風潮が巧みに持ち込まれた。

風潮が巧みに持ち込まれた。

東国主義的の面では此れに呼応したかのように、軍国主義的とされ、その支配が強められた時期だった。文化をはじめとした日本全土が軍事的、経済的な基地とされ、その支配が強められた時期だった。

文化をはじめとした日本全土が軍事的、経済的な基地とされ、その支配が強められた時期だった。

文化をはじめとした日本全体がアメカの北爆が始まった年でもあり、日本全体がアメカの北爆が始まった年でもあり、日本全体がアメカの北爆が始まった。

を意図する動きとして表面化させた。翌年の19を意図する動きとして表面化させた。翌年の19を強化することから始まっていることを見落としてはならない。労音運動の分野でも、此の反映がを強化することから始まっていることを見落としてはならない。労音運動の分野でも、此の反映がを強化することから始まっていることを見落としてはならない。労音運動の分野でも、此の反映がを強化することが引きであった芥川也寸志氏が「労音は新響のオーケストラ活動を分裂させ、労音運動を別等の統一戦線に対して「安保」で昂揚した民主主義へこのようにして「安保」で昂揚した民主主義へこのようにして「安保」で昂揚した民主主義へ

1969年に大阪労音の事務局員の大量退職問題1969年に大阪労音の基本任務を否定し、勤労者のへと波及し、労音の基本任務を否定し、勤労者の人と波及し、労音の基本任務を否定し、勤労者の民主的な音楽運動の変質を迫る事態が相次いだ。民主的な音楽運動の変質を迫る事態が相次いだ。

じる事が出来ずに終わった。 も、全体として会員の減少を食い止め、 な弱点もあって、個々の活動に成果を持ちながら 針としての正しさを持ちながらも、指導上の大き 部に生じた弱点を克服して労音運動 20 周年に向 少し、運動を進めるうえでは、様々な困難が生じ 頂点として、1970 年には15の3万人まで会員減 基本方向で2ヶ年計画を方針化した。しかし、方 の活動を労音運動の基本として発展させると言う 民主的、大衆的な音楽を発展させる事、サークル る方針として、会員の要求を基礎とした民族的、 提起した.東京労音は厳しさを増す情勢に対処す 音連絡会議は、こうした困難を乗り越え、運動内 る要因となっていった。1970年第13回全国労 けての2ヶ年計画を作り運動を発展させる課題を 東京労音について言えば、1965年16万人を 拡大に転

(2) 後退から前進への体制づくり

運動内部にある経験主義、マンネリ化を克服し、集中的にかけられている労音攻撃という情勢の厳自己批判の中で、労音運動の停滞の主要な原因は、滞の中で苦しんでいた各地の労音を励ます。この滞の中で苦しんでいた各地の労音を励ます。このにも停く反省し、率直な自己批判を出し、全国的にも停く反省し、率直な自己批判を出し、全国的にも停く反省し、率直な自己批判を出し、全国的にも停く反省し、率値な自己批判を出し、

です。1970年、第18回東京労音総会は、これ 針と活動の総括が不十分である事を明らかにした。 ば、困難な情勢を切り開き前進をする事が出来る には至ってない。しかし今後の活動を強めるなら 緒的なものであり、十分な成果を生んでいるまで 場に立った、幅の広い音楽活動として発展させる、 ③日本の民主的音楽家と団結して、④勤労者の立 心としたサークルの音楽活動を多面的に発展させ ①会員・活動家の音楽的力量を高め、②例会を中 的な方針を明らかにした。これを総括的に言うと 的に総括し、70 年代の労音運動の展望の基に具体 までの第一次2ヶ年計画と6年代の運動を全面 ルのエネルギーを引き出し発展させるというもの 民主運営を貫き勤労者の音楽運動として、サーク た上で、会員を主人公とする運動の初心に返り、 運動の請負化と幅の狭さを生んでいる事を指摘し 勤労者の音楽要求を基礎とした、具体性のある方 と言うものです。この方針に基づく実践はまだ端

(3) 20年間の労音運動が果たしてきた役割

る事が出来る。
現在の労音運動は現象としては停滞しているか
現在の労音運動は現象としては停滞しているか
現在の労音運動は現象としては停滞しているか

①労音が出来た事で、今まで一部に独占されてい①労音が出来た事で、今まで大ホールで音楽会とした。そして、音楽家自身に人間性を取り戻させる大きな戻させ、音楽にも人間性を取り戻させる子とないにした。そして、音楽家自身に人間性を取り戻させる。そして、音楽家自身に人間性を取りたる。で取り上げられることのなかった軽音楽や伝統

①更に例会活動の中で無名であった新人に発表の

る場を作った。音楽を例会として取り上げ、音楽として評価す

②労音が全国的に組織の網の目を確立してゆくに②労音が全国的に組織の網の目を確立してゆくによって、地方の音楽情勢を一変させた。トラ、バレエなども労音で取り上げられたことトラ、バレエなども労音で取り上げられたことによって、地方の音楽情勢を一変させた。つれて、例会の音楽内容が積極的に追及され始めて、労音運動の「良い音楽」と言う抽象的なめて、労音運動の「良い音楽」と言う抽象的なめて、労音運動の「良い音楽」と言う抽象的なめて、労音運動の「良い音楽」と言う抽象的なめて、労音運動の「良い音楽が普及されたことによって、地方の音楽情勢を一変させた。

青春」、東北農民の現実をテーマに「リンゴの花咲 ジカル「青春の歯車」「コンベアの青春」「だから さこい」・「まんざい」などが創造された。 場の段」・「さんしょう大夫」・「労音音頭」・新曲「よ 民族の伝統音楽・芸能に目を開かせ、「甚兵衛渡し 作曲が生まれ、その他洋楽一辺倒だった音楽界に、 く街」、ベトナムの人民と日本人民の連帯をテーマ 城国一揆」、広島の原爆をテーマとしたカンタータ 新しい日本の音楽文化の創造が進められた。大阪 にした交響曲「ベトナム」など積極的な内容の創 いた「祇園祭」、現代の労働者の生活を描くミュー 労音の初めてのミュージカル「可愛い女」「見上げ てごらん夜の星を」、東京労音・大阪労音共同企画 「人間を返せ」、武士権力に対する町人の反抗を描 「劉三姐」を初め、農民一揆を扱ったオペラ「山 こうした中で、勤労者と音楽家の協力のもとに、

機会を作り、アイ・ジョージ、ダーク・ダック機会を作り、アイ・ジョージ、ダーク・ダック機会を作り、アイ・ジョージ、ダーク・ダック機会を作り、アイ・ジョージ、ダーク・ダック機会を作り、アイ・ジョージ、ダーク・ダック機会を作り、アイ・ジョージ、ダーク・ダックをとして中国・チェコ・ハンガリー・ポーランド・ルーマニア・ブルガリア・東独・ベトナムド・ルーマニア・ブルガリア・東独・ベトナムド・ルーマニア・ブルガリア・東独・ベトナムド・ルーマニア・ブルガリア・東独・ベトナムド・ルーマニア・ブルガリア・東独・ベトナムド・ルーマニア・ブルガリア・東独・ベトナムトースイス・オーストリアの18ヶ国にも及び、イ・スイス・オーストリアの18ヶ国にも及び、イ・スイス・オーストリアの18ヶ国にも及び、イ・スイス・オーストリアの18ヶ回の多くを数さ、岸洋子、佐良直美、森山良子、成田絵智子、ス、岸洋子、佐良直美、森山良子、成田絵智子、ス、岸洋子、佐良直美、森山良子、成田絵智子、ス、岸洋子、佐良直美、森山良子、成田絵智子、オース・ジョージ、ダーク・ダック機会を作り、アイ・ジョージ、ダーク・ダックを表している。

その展望も開かれる。勤労者の立場で進めてきた 労音運動の必要性もそこにある。 的な停滞や現象を克服して大きな飛躍が出来るし、 的な音楽の鑑賞運動として応えていく限り、一時 労音運動はこれらの人々の音楽要求を基礎に積極 愛好し、平和を願う民主的な勤労者がある限り、 闘いの重要な役割をも果たしてきている。音楽を 想文化と闘い、平和と民主主義を守り発展させる クルに組織された勤労者の自覚と自主性とによっ 者の音楽運動は、 ける民主的文化運動の一翼を担って、反動的な思 て、築かれたものであるばかりでなく、日本に於 相互理解を深めてきた。しかも、この大きな勤労 回に及ぶ世界の進歩的音楽運動との友好と交流で 其の外、日本音楽家の海外派遣や労音代表の6 延べ2000万人に及ぶ、サー

長先生達と、私も反対運動をしたことがある。そ使うことに多くの人が反対した。先輩の保母、園と女性独自の優しさや心遣いがなくなる。「士」を婦は看護士になった。「母」「婦」を取ってしまう婦は看護士になった。「母」「婦」を取ってしまうが多い。ある時から保母は保育士に、看護に、とうとう「士」になってしまったのかと感じた、とうとう「士」になってしまったる女性と接する最近、お母さんや、保育にあたる女性と接する

すらすらと出てきた。と口ずさむようになった。一番は、不思議なほどと口ずさむようになった。一番は、不思議なほど「保母のうた」があることを思い出すと、矢鱈

事実そうなった。「保母」という言葉の響きに無償うに、男女平等へ幕開けだと言っていた人も多く、れは、男女共出来る仕事、男の人に門徒を開くよ

に懐かしさを思い出した。

保母は 楽しいお母さんこの喜びよ 幸せよ まなこ涼しく よってくる 双葉のような 幼子が

思いつきで探す時間も当てもない。しまった。思い出す術もない。大部前の物を急なされている。記しておいた帳面も何処かへ行って出そうとすればする程だめだ。同じ言葉が繰り返出るとすればする程だめだ。同じ言葉が繰り返出番、三番、三番、もっと長かったように思うが、真

の子をみるどころじゃあんまい》と批判されたが、ったろう。《自分の子供も真面にいかないのに他人な小娘に子供を見て貰うのか》母としてはどうだ保母だったか、そういう姿で接してきたか。《あん只、懐かしんで歌っていた。歌のように優しい

いう。どうしようもない。頑張ってきたことを自負してどうしようもない。頑張ってきた。過ぎた時間は

と言わんばかりに、小さな手帳が出てきたのだ。と言わんばかりに、小さな手帳が出てきたのだったがである。その間に挟まっていた。その時は写真帳を何気なく動かしたのだったが、風が「あの間にあるよ」と教えてくれたかのように思えた。「ここにあるよ」と教えてくれたかのように思えた。「ここにあるよ」と教えてくれたかのように思えた。すにも思えた。そこ一帯に積まれている物が「早りにも思えた。そこ一帯に積まれている物が「早りにも思えた。そこ一帯に積まれている。と言わんばかりに、小さな手帳が出てきたのだ。と言わんばかりに、小さな手帳が出てきたのだ。と言わんばかりに、小さな手帳が出てきたのだ。と言わんばかりに、小さな手帳が出てきたのだ。

った。

さの手帳は、十五~六年上の先輩の物だが退職
の時に頂いたものだった。手帳には童謡、歌曲、の時に頂いたものだった。手帳には童謡、歌曲、の時に頂いたものだった。手帳には童謡、歌曲、の時に頂いたものだった。手帳には童謡、歌曲、

保母は みんなのお母さん楽しい未来を築いてくいたわりながら 見守って母ない子らも 弱い子も

歌詞を一ページーページに書き込んでいた。四十、大輩は、子供と歌う時に確り歌えるようにと、けた。一番、二番とあの子達を思いながら、自分れてきた。涙が止まらないまま、声掠れながら続取り組んでいた日々が涙となって一度にどっと溢取り組んでいた日々が涙となって一度にどっと溢取り組んでいた日々が涙となって一度にどっと溢取り組んでいた日々が涙となって一度にどっと溢取り組んでいた日々が涙となって一度にどっと溢している。

と話してくれたことを思い出す。ものも多い。「私らは楽譜ではなく数字で教わった」書かれていた。歌詞と共に数字が記入されている六ページの小さな手帳に七十曲の歌が挿絵入りで

どんぐりころころ	
どんぐりころころ おいけにはまって	
5 3 3 4 3 2 1 3 3 5 5 6 6 6 6	5 5 3 3 2 1 1 3 3 5

残っている。
きながら歌い、明日の保育に備えていた姿が目に帰りのバスを待つひととき、足踏オルガンを弾

い人も多かったと淋しげに話していた。同級生の男友達は招集されて行って帰ってこなもなかったと水郷地域は水との戦いだったとも。な縄綯、筵編み、ぼっちつくり、俵編みと休む間な縄海、筵編み、ぼっちつくり、俵編みと休む間をする毎日だったという。留守家族の農家で必要をする毎日だったという。留守家族の農家で必要

う受けとったことだろう。
「学がないから」「字が下手だから」と遠慮する「学がないから」「字が下手だから」と遠してあげたが、ど
惑った。必死の思いで「そんなことは問題じゃな
惑った。必死の思いで「そんなことは問題じゃな

いとしい子らを 抱きながら雪ふりつのる 夕暮れに

何事も前向きで、仕事を選ばずやっていた人だ。
 何事も前向きで、仕事を選ばずやっていた人だ。
 何事も前向きで、仕事を選ばずやっていた人だ。

折角集団生活に慣れた子が、連休明けには泣く が増えた。 つにとめて欲しいお二人だ。 を工夫が次々に出てくる楽しさに、目を輝かして を工夫が次々に出てくる楽しさに、目を輝かして を工夫が次々に出てくる楽しさに、目を輝かして や工夫が次々に出てくる楽しさに、目を輝かして や工夫が次々に出すと子供たちの喜びは増す。発想 その瞬間音を出すと子供たちの喜びは増す。発想 その瞬間音を出すと子供たちの喜びは増す。発想 を工夫が次々に出てくる楽しさに、国を輝かして や工夫が次々に出てくる楽しさに、国を輝かして の多い今、心にとめて欲しいお二人だ。

保母は 心のお母さん 明るく未来に のびていくさとして聞かせる 真心に良い子になってと 涙ため

若い私たちも混乱の渦の中で「子供を育てる」こ社会で育ってきた母親と、戦争後の教育を受けた終戦から十四、五年経ってはいたが、戦争の中

りをより深くしてしていった。声高らかに歌った。歌うことで勇気が湧いて、誇していた。公的な集いでは必ず「保母のうた」を先覚者の話にも耳を傾けて、自分を見詰めようととを考えて毎日を送っていた。講習会、研修会で

ろう。

保母は 社会のお母さん 明な夕なと 忙しく がい子らの はぐくみに

"時は今 ところ足もと そのことに 父、母の心を大切に、椎尾弁匡先生の、 農繁期託児所創立の日が、間もなくやって来る。

その後、石岡の渡辺先生に多くの先人のこと、いながら今日もこの歌を唱っている。た。もう九十路を超えられた。お変わりなくと願の教えのもとに、あの先輩方も頑張って来られの教えのもとに、あの先輩方も頑張って来られ

を でしまった情けない私が、蝉の抜殻のように秋を がの世代に伝えていく筈だったのに続かず仕舞に なの世代に伝えていく筈だったのに続かず仕舞に なの世代に伝えていく筈だったのに続かず仕舞に なの世代に伝えていく筈だったのに続かず仕舞に なの世代に伝えていく筈だったのに続かず仕舞に なの世代に伝えていく筈だったのに続かず仕舞に なの世代に伝えていく筈だったのに続かず仕舞に なの世代に伝えていくぎだったのに続かず仕舞に なの世代に伝えていくぎだったのに続かず仕舞に なのに知らせる努力もせず、見に行くこともしない でしまった情けない私が、蝉の抜殻のように秋を でしまった情けない私が、蝉の抜殻のように秋を でしまった情けない私が、蝉の抜殻のように秋を むかえた。

伝えよう。渡辺先生の下さった宿題を後輩におくに、あの手帳を大切に頑張ってきた先輩のことを現役で苦労している後輩に、努力している先輩

石岡市指定文化財(七)

兼平智惠子

をお迎えしました。は、今までにない最多の四十八万八千人の来場者は、今までにない最多の四十八万八千人の来場者、去る九月十五~十七日三日間の石岡のおまつり

来年の五穀豊穣、無病息災をお祈ります。神様と共に今年の五穀豊穣、無病息災を喜び、

る」等と人気を呼びました。

今回は特別展示、「古写真にみる常陸國總社宮例大祭」に、昭和九年から昭和初期頃の例大祭の様今回は特別展示、「古写真にみる常陸國總社宮例来場者と同じく、三日間で最多の三六十人あまり。来場者と同じく、三日間で最多の三六十人あまり。

ィアのご活躍がひときわ輝いていました。る「きれいなおまつり」に向っての清掃ボランテるして百六十人余りの高校生以上の皆さんによ

コゴ)コュング「―はなず」 しょうのできる中町の日本武尊です。 さて今回の市指定文化財の紹介はおまつりで

中町の山車人形「日本武尊」一体

有形民俗

平成一六・三・二五指定

う一度振り返って見ましょう。以前にも当会報八五号にて紹介しましたが、も心をなごます注目の町内のおまつり山車人形です。和のレトロな雰囲気を醸し出し、訪れる皆さんの和のレトロな雰囲気を醸し出し、訪れる皆さんの和のレーな雰囲気を醸し出し、翌年の復興で昭和四年三月に大火災に遭遇し、翌年の復興で

商店街としておおいに繁栄しました。 街道の宿場町として。明治、大正、昭和の時代に 商業都市として栄え、中町、 石岡は、府中平村と呼ばれた江戸時代には水戸 醤油の醸造工場と製糸工場、 香丸町はその中心的 桐材工場と

物は、 尊の人形は焼失を免れました。しかし山車と彫り 年の大火によって福島屋荒物店様は焼失してしま 内の旦那衆の協力があって製作にかかれたと言い である幕内様が、懐かしく話をしてくださいまし て焼失してしまったと、福島屋荒物店様のご子孫 店様の蔵に預かってもらっていたが、大火によっ いました。が、「天保」「慶応」と名つけられた」 たものと言われているそうです。しかし、昭和四 る人形師 三代目 法橋 原舟月に製作を依頼し 物店様という卸問屋があり、この三代目当主の時 現在の石岡ラジオ店様のところに以前、福島屋荒 伝えられている。山車人形、日本武尊に関しては、 倹約して積立を始めました。このことを知った町 山車を造ることを計画、ほんの微々たる小遣いを つの蔵の内、「慶応」と書かれた蔵にあった日本武 に、幕末から明治時代に活躍した、江戸を代表す 十数名が三階建総欅造りの商人街中町に相応しい 今を遡ること約九十年の昔、 平成初年頃まで繁栄していました高喜呉服 当時の中町の若衆

顔になるそうです。 えるが、いざ山車に乗り、下から見上げると、丸 相対して見るヤマトタケルノミコトの顔は長く見 また幕内様おっしゃるに、人形の見どころは、

おまつりには、是非お楽しみ下さいとのことでし くる龍紋の刺繍など、豪華な衣装とともに来年の 紋綸子に本金糸の縫い取り刺繍・胴正面に出て

> 教示有難うございました。 紹介下さいました福島屋砂糖店様、 福島屋荒物店様のご子孫の幕内様、幕内様をご 惜しみないご

金木犀の香に押され テープ切る孫息子得意げ 智惠子

高齢者運転

小 林幸枝

多い。 自信を持っているという。しかし、交通事故のニ ュースを見ていると、高齢者による事故が非常に 高齢者ドライバーの多くの人が、 自分の運転に

心配になる。 かけて来た。認知症はなかったが、運転はやはり の踏み間違い、ハンドル操作ミスが大半である。 かし、高齢者の事故の内容を見ているとブレーキ 力がそれほど落ちていないと思いたいようだ。 仕方のないことなのだが、自分だけは未だ身体能 歳をとると身体能力や判断能力が低下するのは 父が、高齢者運転講習の認知症の検査講習に出

った。後続のオートバイの運転者が大声で怒鳴っ 逆走してきて、運転者のお婆さんが「すまん」と かしたらと慌てて車を寄せてクラクションを鳴ら パトライトが点灯しているわけではないので若し 遇しビックリした。最初、緊急車両かと思ったが、 ていたようでしたが、お婆さんの車は行ってしま し、ライトをフラッシングしたが止まることなく いうかのように笑いながら手をあげて行ってしま 先日、つくばの会社に行く途中で、逆走車に遭

> ます。しかし、父も多くの高齢者と同じで、 のだからゆっくり気を付けて運転してと言ってい けでなく若者でも俺は大丈夫、は決して考えない の高齢者の方はそういいますが、運転は高齢者だ 大丈夫だからと言います。父だけではなく、多く ようにしたいものです。 父には、自分の運転に過信しないで、 高齢者な 俺は

それにしてもお婆さんの逆走にはびっくりしま

日の模様がテレビで流される。さらにいくつかの 8月中は恒例のように広島・長崎そして終戦 父のこと(父の歴史2) 菊地孝夫

まう。 太平洋戦争の特集が組まれる。 月が替わるとそれらはぱったりとなくなってし

将校しかいなかった。1期生の情報将校が100 をもっていた。一方の日本海軍には数十人の情報 能」だった。アメリカ軍は数万人規模の情報部隊 制すると言われる。当時の軍部はこの点全く「無 フト面が、きわめて弱体だった。近代戦は情報が た。艦船などの準備はできたが、通信・情報のソ 本海軍は急いで情報部門の拡充を図る必要があっ アメリカとの戦争が避けられないと判断した日 即製の海軍情報将校となった父たちは、昭 少尉任官と同時に各地に配属となった。 和 17

るより、こちらに予算を振り向けるべきだった。 太平洋戦争の負けは「物量差」だと言われるが、 「大和」や「武蔵」などの時代遅れの巨艦を作 余名配備されるのは開戦の翌年である。

が死んだのである。 そしてそのために、死ななくてもよい多くの人開戦前にしてすでに敗北していたのである。

代要員がいなかったのである。 での解析にあたった。時には不眠不休である。交の上守(シムシニ)島にも海軍の基地があった。すぐの上守(シムシニ)島にも海軍の基地があった。すぐの屹莚(パラムシル)島の海軍通信隊勤務となる。隣の幌莚(パラムシル)島の海軍通信隊勤務となる。隣の幌莚(パラムシル)島の海軍通信隊勤務となる。隣の幌莚(パラムシル)島の海軍通信隊勤務となる。隣の根莚(パラムシル)島の海軍通信隊勤務となる。隣の根莚(パラムシル)

方法で、現実に戦果を挙げることができた。予測した。これは当時考えられるかなり効果的な特性を統計的に分析して、アメリカ海軍の動きをよって、発信地点の特定や、通信の集中といったなかったが、「通信解析」という手法をとることになかったが、「通信解析」という手法をとることにないったが、「通信解析」という手法をとることにないによるアメリカ軍の暗号解読はついにでき

昭和20年、もはや日本の劣勢が避けがたくなっいたころ、アメリカ軍の次の上陸目標はどこかな検討された。埼玉県大和田にある通信基地では、が検討された。埼玉県大和田にある通信基地では、が検討された。埼玉県大和田にある通信基地では、が検討された。ややあって、その根拠を示した。「沖然とさせた。ややあって、その根拠を示した。「沖然とさせた。ややあって、その根拠を示した。「かが、これは偽電ではないか?」と。他にもいくつが、これは偽電ではないか?」と。他にもいくつが、これは偽電ではないか?」と。他にもいくつが、これは偽電ではないか?」と。他にもいくつが、これは偽電ではないか?」と。他にもいくつが、これは偽電ではないか?」と。他にもいくつが、これは偽電ではないか?」と。他にもいくつが、これは偽電ではないか?」と。他にもいくつが、これは偽電ではないか?」と。他にもいくつが、これは偽電ではないか?」と。他にもいくつが、これは偽電ではないか?」と。他にもいくつが、これは偽電ではないか?」と。他にもいくつが、といた。

ただし硫黄島の可能性あり」となった。 結局、御前会議での報告は、「沖縄上陸の公算大、

アメリカ軍が偽の無電を打ったかどうかは判ら将以下数万の将兵の玉砕となる。結果はアメリカ軍の硫黄島上陸となって栗林中

めていた。ほとんど無敗だった。 の間で行われていたコントラクト・ブリッジといの間で行われていたコントラクト・ブリッジといて父の読みが当たっていた証明は出来ない。ただ、て父の読みが当たっていた証明は出来ない。ただ、の間で行われていたコントラクト・ブリッジといるが、戦後70年以上たっても、この件に関してのない。戦後70年以上たっても、この件に関してのない。戦後70年以上たっても、この件に関してのない。戦後70年以上だった。

ならうなずける話である。け、硫黄島を攻めるという手を使う。これは現在け、硫黄島を攻めるという手を使う。これは現在アメリカ人が裏をかいて、沖縄に行くと見せか

のだろう。ていた。その動向からも、沖縄は怪しいと踏んだりカ軍の潜水艦の発信する無電がすべて集められ当時潜水艦主任となっていた父のもとにはアメ

続けているが3・11での経験が生かされたとは到数年前から、政府・自民党は国土強靭化を言い確実に増えて自治体の不備を補っている。災者は増えるばかり。民間人のボランティアは、今年は自然災害が多発している。家を失った被

地震列島日本ではどこで直下型地震が起きてもの震源は知られているものの2倍以上ある。働中でなかったことが幸運であった。活断層など水海道の地震では震源が原発の直下でなく、稼

底思えない。

成派なのだ。無が言われるが、調査する地震学者は、再稼働賛おかしくない。原発再稼働の条件で、活断層の有

に対応できなかった。風力や地熱、太陽光などに電を、火力と原子力にしていたため、今回の危機シマ」の悲劇がまた起きたのである。すべての発かは今の科学技術では判らない。 深度 30 キロ以下の深さに活断層があるかどう深度 30 キロ以下の深さに活断層があるかどう

ニは自家発電を備えていた。時間は十分あった。気の利いた地元発祥のコンビ設備しておけばよかったのだ。3・11 から7年、治体の電源は、太陽光とバッテリー、自家発電をリスクを分散しておけばよかったのだ。せめて自

を無駄に作ることではない。フラの整備を言う。東京の河川に巨大な堤防など国土の強靭化というのはこうした基本的なイン

味な巨大プロジェクトが進行している。 あいもかわらず時代遅れの政策の延長上で無意

(風の談話室)

やさと暮らし20

玉打ちは暫く諦めて貰って、このまま花と香りをい香りがして、純白の小さな白い花がびっしり、い手の網に絡まっている蔓の名前が分かった。セ習用の網に絡まっている蔓の名前が分かった。セあれだけ暑かった夏も何時の間にか、秋風がたあれだけ暑かった夏も何時の間にか、秋風がた

●我が部落の日々

楽しませて。

れられない。それ以後、水が怖い、泳げないのも村中の大人たちが池に入り探していた姿が今も忘学4生の夏、隣りの同級生がその池で亡くなった。小、私の子供の頃は山から綺麗な水が流れこみ、が、私の子供の頃は山から綺麗な水が流れこみ、・毎年夏になると思い出す悲しいお話し、近くに・毎年夏になると思い出すましいお話し、近くに

その時の恐怖心のせいかも知れない。

くか、と、果たして効き目があるのかな? はとんど、田んぼの主、イノシシ除けの薬でもまい! 近隣の田んぼには電気柵をつけている所がにしてはおかしい。聞いてみるとイノシシ頑張っにしてはおかしい。聞いてみるとイノシシ頑張っにとんど、田んぼの主、イノシシが現れている。 台風の影響が有り、所々円形に稲が倒れている。 台風の影響が有り、所々円形に稲が倒れている。 台風の影響が有り、所々円形に稲が倒れている。 台風の影響が有り、所々円形に稲が倒れている。

が始まる。秋がもうすぐだが。一の白い花が咲いていた。栗のイガも一段と大きーの白い花が咲いていた。栗のイガも一段と大きが流れて来た。香りの方へ行って見るとジンジャが追りでした。ではいいまりによると、人が出ると、良い香りにはなる。

野菜たちが顔を出した、思わぬ喜びが!のは、まるで草刈りするために借りているよううのは、まるで草刈りするために借りているよううのは、まるで草刈りするために借りているようがと?畑を返すか?借りて置く事に、家庭菜園や花造りを楽しむ。そして昨日と今日、朝5時から二人でを楽しむ。そして昨日と今日、朝5時から二人でを楽しむ。そして昨日と今日、朝5時から二人でを楽しむ。そして昨日と今日、朝5時から二人ででいるのを見つけた、植えっぱなしになっているまです。

まったが、残りの3本は見事に咲いた。良い香り蕾を4つもつけていたのに先日の大雨で折れてし夏には花が咲きますよと言われた。本当に咲いた、・足利のフラワーパークで思い出に買った球根、

風がふいている。り花に。部屋中香りに包まれているが、外では突雨の予報も。昼間見た花が気になり思い切って切影響が、先ほどから強風が唸りをあげている、大影響がのている。しかし、これから関東にも台風の

●秋の味覚

いて、沢山秋を感じました。 風も幾分秋風に変わって、秋の虫たちが競って鳴 は新米が、我が家の栗も東京の友人たちに送る。 と独特の香り、今日は早速サンマを買いダイコン と独特の香り、今日は早速サンマを買いダイコン

などが高値で買いに来ていい小遣いになったようなどが高値で買いに来ていい小遣いになったようなどが高値で買いに来ていい小遣いになったようなどが高値で買いに来でいい小遣いになったようなどが高値で買いに来でいい小遣いといけない。大きさを揃えて出荷すれば収入も増えるがそんな人手さを揃えて出荷すれば収入も増えるがそんな人手さを揃えて出荷すれば収入も増えるがそんな人手さを揃えて出荷すれば収入も増えるがそんな人手さを揃えて出荷すれば収入も増えるがそんな人手さを揃えて出荷すれば収入も増えるがそんな人手が高値で買いに来でいい小遣いになったようなどが高値で買いに来ていい小遣いになったようなどが高値で買いに来ていい小遣いになったようなどが高値で買いに来ていい小遣いになったようなどが高値で買いに来ていい小遣いになったようなどが高値で買いに来ていい小遣いになったようなどが高値で買いに来ていい小遣いになったようなどが高値で買いに来ていい小遣いになったようなどが高値で買いに来ていい小遣いになったようなどが高値で買いに来ていいいいから表示といいいからないといいからない。

て来た。 持って帰った。今日姿を変へ栗羊羹になって帰っの栗の木も沢山実が落ち、先日花友さんが来た時だが、今ではそんな姿は見られない。我が家の庭

併せて咲くのですね。彼岸入りはもうすぐです。はアッという間に伸びていた。此の花はお彼岸にで、楽市さんと同じ様に花もたくましい。彼岸花た見事に咲き始めた。苗は楽市さんに頂いたもの咲いたサルビアの花を切り落として置いたら,まらし振りに庭を覗き、6月から8月まで満開に

●八郷でいろいろ

ェスティバルだった。やんも婆ちゃんも集まり何ともアットホームなフやんも婆ちゃんも集まり何ともアットホームなフ終了後久し振りに立話。子供達は走り回り、爺ちちょうど地元のオカリナサークルの演奏中だった。

・真家のみたまおどり、80年の伝統がある念仏踊・真家のみたまおどり、80年の伝統がある念仏踊・真家のみたまおどり、80年の伝統がある念仏踊・真家のみたまおどり、80年の伝統がある念仏踊・真家のみたまおどり、80年の伝統がある念仏踊・真家のみたまおどり、80年の伝統がある念仏踊・真家のみたまおどり、80年の伝統がある念仏踊・

の陶芸家志村先生の指導の下、それぞれ真剣に製が開かれ午前の会午後の会と大盛況でした。地元さと」が開催される。茅葺屋根古民家で陶芸教室・爽やかな青空の下、今日から「アートサイトや

とずれていました。何時もは人通りのない田園風 お手伝い。古民家の土間には手作りの作品やポス さん本当に楽しそうでした。私は少し先生の 作しておりました。親子連れ、 る姿を見るとワクワクします。 景に人の声が響き、若い学生さん達が活躍してい トカードなども販売されており、次々見学者がお カップルさん、 皆

っていた。カホーンの飛び入り参加もあり楽しい た。メンバーが 1 人変わり若いフルートの方が入 さんの体調を心配したが、どなたも元気一杯だっ 気と違ってからりとしている。今日はオリーブさ お弁当で皆さん完食でした。 コンサートになった。今回のランチはママ特製の んでのランチコンサートの日。この暑さ続きで皆 窓を開けるとひんやりとした風が、何時もの空

石岡や近隣の:

味しい事でしょう。酒場めぐり一日目です。 通り酒場めぐりスタート。仲間と駅前で待ち合せ の様です。こんな暑い夕べ、さぞかしビールも美 はいそいそとお出かけ、今日から3日間石岡駅前 ブさんでランチ。タップリ涼んだ。夕方、アルジ ると楽市さんより電話が、久し振りなのでオリー とは沢山あるのに気が乗らない。ダラダラしてい ・なんて不快な1日だったんだろう。やりたいこ

全然見えない、暫く近くの駐車場にて待機する。 やれやれと思い進むと、また、突然の大雨、前が 戻るに戻れず進むと、突然雨の降らないエリアに、 トに参加している夫と待ち合わせの為、天気を気 にしながら出かける。同時位に雷と滝の様な雨、 ・夕方の空模様が不気味だった。市内でのイベン

> 景を見ながらいい時間を過ごせました。暑い暑い ちょうど希望が丘で打ち上げられている花火や夜 緊張した一瞬でした。雨が小降りになってから酒 今年の酒場めぐりも終わりました。 き通った美しい歌声)、その後石岡プラザ8階へ、 子さんのコンサートを楽しんで(いつもながら透 場めぐりに、7時からレストランティアラで恵莉

明日最終日です。まつりが終わって、まつり見学 山車12台は人込みに埋まっていました。まつりは や栗や新米をお土産に石岡の思いでをいっぱい積 ると今夜は寂しい。ブドウ園に寄ったり八郷納豆 に来ていた来客が帰りました。3日間も一緒にい を済ませ再び駅前に、駅前は凄い事になっていた。 れでゆっくりしたいとの希望で、ティアラで夕食 で少し時間があったので食事を、人混みと歩き疲 集合に合わせ泊り客と5人で出掛ける。勢ぞろい ら凄い熱気。まつり2日目、駅前に幌獅子32台大 3日間滞在。夜のまつりに出かけました。初日か した幌獅子圧巻でした。其のあとの山車大行列ま んで帰って行きました。 今日から3日間石岡のまつりです。姪家族4人

居を観てきました。危機に瀕していたひたちなか って行きたいと。次回を楽しみにしています。 じられます。年に1度は地域の題材でお芝居を作 す。そんなわけで水戸芸術館がより一層近くに感 ギタリスト宮下祥子さんのご主人さんでもありま ませて貰いました。又、芸術監督の井上桂さんは 間模様、胸がジンとしたり元気を貰ったり、楽し 海浜鉄道再生の話でした。10年近く走り続けたロ 一カル鉄道をまもろうとする、応援団の人々の人 ・水戸芸術館で芸術監督を務める井上桂さんの芝

家への泊りなので、あれこれ飲みながら、近況報 事を済ませ一年ぶりの再会を喜んだ。今夜は我が にくの雨降りなるも、ゆりの郷へ、温泉に入り食 ・久し振りに東京の友人夫妻が訪ねて来た。あ

世話になりました。生憎のお天気でしたがこんこ め様々なイベントの司会や裏方をお願いし大変お お2人にはギター文化館時代フリーコンサート始 せた2人、あれからもう18年もの年月が経った。 どコロちゃんが迷い犬で夫に付いてきた時居合わ お喋り。八郷に通い始めて 18 年のご夫婦、ちょう ・1年ぶりにやって来た友人と昨夜は遅くまでの ンチしたり、名残惜しみながら夕方帰って行きま んギャラリーにお邪魔したり、オリーブさんでラ

《風の呟き 古代文明を齧る

打田昇三

受講した「日本オリエント学会(名誉会長・三笠宮)」 型の漆喰像」の存在が記録されており、日本の縄 界最古と思われる埋葬事例として「再生を祈る小 の講座資料には中期旧石器時代(二万年以上前)の世 祖先とする以外に有り得無いと思う。 国家の様に言われて来たが人類は猿か原始人類を 的観念を芽生えさせていた…と言う。 文文化に似ているとされる此の時代に人類は宗教 大日本帝国は天皇家の祖である神様が創建した かつて私が

アフリカ辺りで発見された遺跡に見る限り彼らは 旧石器時代の前期は「原人」の世界らし

「ムスティエ文化」と呼ばれているするようになったらしい。これはフランスなどで葬し花を供えるなど死者を悼み死後の世界を認識〜三万年前の中期旧石器時代になると洞窟内に埋死者を埋葬しなかったようで、其の後、二十万年

旧石器時代も後期に入ると現生人類と同じホモサピエンスが西アジア各地で初期の農耕牧畜をキサピエンスが西アジア各地で初期の農耕牧畜をためたようで学術的にバラドスト、ザルジ、ナト類が宗教的感情や個人財産の観念を持ち祖先崇其の遺跡からは装飾的副葬品や人面石が出土し、其の遺跡からは装飾的副葬品や人面石が出土し、は死体に赤土を掛ける再生祈願も行われ西アジアは死体に赤土を掛ける再生祈願も行われ西アジアは死体に赤土を掛ける再生祈願も行われ西アジアは死体に赤土を掛ける再生祈願も行われ西アジアは死体に赤土を掛ける再生祈願も行われ西アジアは死体に赤土を掛ける再生祈願も行われ西アジアはが進み、灌漑農耕も行われて人口増、都市化が進んだ―是は古代オリエントの話であるが日本のた。

ナス余談

原茂美

い意味なら長年言い続けられる訳がない。わすな…という姑の言葉らしいが、こんな意地汚た。美味しい秋ナスは、もったいないから嫁に食昔から『秋ナスは嫁に食わすな』と言われてき

ので子宝に恵まれないから…という意味があるのスを食えば体が冷えるから、或いは種子が少ない食わせない理由は他に何かある筈。調べたら秋ナ諺なら何らかの教訓を含むもの。それゆえ嫁に

だろう…と諺辞典に書いてある。

ビは、家畜をも殺すソラニン毒素を持つ。タバコなど2678種もあり、有害雑草ワルナスナス科は幅広くトマト・ジャガイモ・ピーマン・

てもらいたい。

な維持する作用がある。嫁さんにこそ、沢山食べかラサラで、動脈硬化・高血圧を防ぐ。更に視力と含まれた健康野菜。特に紫色のアントシアニどのミネラルが豊富。更に食物繊維などバランスとのミネラルが豊富。更に食物繊維などバランスとのミネラルが豊富。更に食物繊維などバランスとのミネラルが豊富。更に食物繊維などバランスとのミネラルが豊富。

近所にもおすそ分け。

私の家庭菜園歴も今年で5年目。どうやら腕も私の家庭菜園歴も今年で5年目。どうやら腕も私の家庭菜園歴も今年で5年目。どうやら腕も私の家庭菜園歴も今年で5年目。どうやら腕も私の家庭菜園歴も今年で5年目。どうやら腕も

何しろ我が畑は5㍍の畝が4本のみ。しかもウでの花は 千に一つの無駄もない」と昔から言わびの花は 千に一つの無駄もない」と昔から言わびの花は 千に一つの無駄もない」と昔から言わびの花は 千に一つの無駄もない」と昔から言わびの花は 千に一つの無駄もない」とけられているので…。

表示でます。

私流野菜作りの基本は、とにかく元肥をしっか

私流野菜作りの基本は、とにかく元肥をしっか

私流野菜作りの基本は、とにかく元肥をしっか

私流野菜作りの基本は、とにかく元肥料を施し、

私流野菜作りの基本は、とにかく元肥料を施し、

私流野菜作りの基本は、とにかく元肥をしっか

私流野菜作りの基本は、とにかく元肥をしっか

私流野菜作りの基本は、とにかく元肥をしっか

私流野菜作りの基本は、とにかく元肥をしっか

とのするに生き甲斐を感じ、張り切り爺さん、頑

はいたいたが、家庭菜園と、この「風の会」

はいたいにが、家庭菜園と、この「風の会」

はいたいにが、家庭菜園と、この「風の会」

はいたいにが、家庭菜園と、この「風の会」

はいたいにが、家庭菜園と、この「風の会」

はいたいにが、またいとにかく元肥をしっか

の投稿に生き甲斐を感じ、張り切り爺さん、頑

との事。ズブの素人の農学研究も容易じ、ために、

はいたいにが、

ないますといいといいます。

はいたいにが、

ないますといいます。

はいますといいます。

はいますといいます。

はいますといいます。

はいますといいます。

はいますといいます。

はいますといいます。

はいますといいまする。

はいますといいまする。

はいまするに、

といいまするに、

爺さんと言えばこの間、ある新聞の老コラムニ 爺さんと言えばこの間、ある新聞の老コラムニ のまをよく聞いていたら、ジイは爺ではなく、このガキめ、何をぬかすかとカチンと来たが、次て、気持ち悪くてやんなっちゃう』と大きな声。 としたとの事。

孫達から狂変の若者言葉の講義を受けた。スマホ時代、色んな言葉が乱舞している。早速

いつの時代にも、若者には隠語が流行する。代はドイツ語でメッチェン(mädchen)と呼んだ。英語短縮でYL(=young lady)と呼び、大学時しかし私らも 65 年前の高校時代に若い女性を

スペイン旅行記(6月25日~7月5日) 木下明男

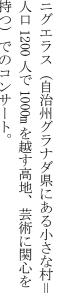
が、大量の真水を生み出し野菜が生産されるとい うな荒地で野菜が生産されるのか?日本の技術が ヨーロッパ中に供給されているとか?何故このよ やかに云われているらしい。このハウスで作られ 国に存在する万里の長城、最後にこのアルメリア 紀元前に作られたエジプトのピラミッド、次に中 る人工物で見えるものは三つあると云う。一つは ているものは、生鮮野菜だという。ここの野菜は に存在する「ビニールハウス群」だと、まことし 一役買っている、東レの水しか通さない布の技術 「人工衛星」から地上を見ると、地球上に存在す

エル モラトで二郎さんのディナーショー んの最新の曲で・・・!今日の夜は、ペーニャ が印象的、素晴らしい音色に感動。最後に吉川さ ちだそうです。さっそく二郎さんが試奏、明るく で流されました。思い出したなー!分厚いメガネ であるマエストロマヌエル・カーノの演奏が画像 会者の質問に応え、そして生演奏が・・・!師匠 ースです、アルメリアテレビに生放送に出演。司 ほどのギターを製作しているとか?注文は一年待 る瀟洒な建物の中に工房がある。此処で年間十本 て弾いて見たくなる楽器と評価をしていた。ニュ ィーノギター工房を見学。アルメリアの郊外にあ ●6月 29 日:アルメリア二日目、昼にヘルンデ





別行動、 路線バスにて移動。丘の上に出ると、シェラネバ 望まれた。近くのレストランにて・・・! タの雪渓を背景にしたアルハンブラ宮殿の勇姿が ●6月30日:吉川さん(カーノ師の墓参り)とは 歩きでアルバイシン迄、川沿い坂の処は





●7月1日:夜が明けた、今朝のグラナダは曇り ●7月1日:夜が明けた、今朝のグラナダは曇り ●7月1日:夜が明けた、今朝のグラナダは曇り を流行くと PM 11時を大きく回り、ホテルに戻っ 気が付くと PM 11時を大きく回り、ホテルに戻っ 気が付くと PM 11時を大きく回り、ホテルに戻っ た時は午前さま。



近くのレストランで食事、このレストランは超有かの前がメスキター大聖堂に遺跡、市内見学前に内から遺跡が出て保存を…!部屋は高級で、ホテ準備が出来ていない、このホテル(ユーロスター)準の前がメスキター大聖堂に遺跡、市内見学前にはゴルド路を猛スピードでひた走り、午後一時にはゴルド路を猛スピードでひた走り、午後一時にはゴルド路を猛スピードでひた走り、午後一時にはゴルド路を猛スピードでひた走り、午後一時にはゴルド路を猛スピードでひた走り、午後一時にはゴルド路を

て大きな川も有りローマ時代の水車後まで…。 天皇や皇太子、海部元総理も来たらしい?大聖堂を見学後若干のシェスタを取る、夕食までの間コルドバの街中を散歩!細い路がくねくねと、車は勿論バイクも通れない…? 何でも街全体が要塞れでも路地には美しい花(花の小道)が、そして大きな川も有りローマ時代の水車後まで…。



●7月3日:コルドバを出る朝、ホテルから大聖 ●7月3日:コルドバを出る朝、ホテルから大聖 ●7月3日:コルドバを出る朝、ホテルから大聖 ●7月3日:コルドバを出る朝、ホテルから大聖 ●7月3日:コルドバを出る朝、ホテルから大聖 を)です。夜は楽しみにしていたバル巡り。最後 の店を出た後も、人出は増えるばかり、人種の が目の前で拘束?人出は未だ未だ此れから、私た ちは明日早いので夜11時には…???一番賑や ちは明日早いので夜11時には…???一番賑や ちは明日早いので夜11時には…?? 下アフリカ系の露店者 がはいかな広場に、プレートが埋め込んである?マドリードの中心と云う事かな。アデオス、マドリート ド!!!来年はリスボンまで行こう!!!

> ●7月4日:マドリード空港にアムステルダムかりございました! 生・野口さん、Iさん、Nさん、Hさんありがとに。来年も何とか参加したいものです、吉川先らの飛行機が遅れて若干心配したが、何とか無事らの飛行機が遅れて若干心配したが、何とか無事



【特別企画】

巻第九 (一-2) 一巻第九 (一-2)

宇治川先陣(うじがわせんじん)のこと

に「生きものに遠慮なく喰いつく」と言う意味で気性が荒く、傍に寄る者は遠慮なく喰いついた為は黒みがかった栗色で体格が太く逞(たくまし)く、が合戦用の馬であるから評価が違ってくる。毛色綱が貰った「池月」は優等生の馬かと思ったのだ前の章段に名馬と書いてあったので、佐々木高

いけずき」と名付けたらしい。名月を連想する

本には「いずれ劣らぬ名馬」とある。 貰った「摺墨」は原本に「色が黒い」としか書い 肩口まで四尺(約二三ニセンチ)を標準としたが池月 て無いから性格は温和だったのかも知れない。原 は、二○数センチも高かった。一方、梶原景時が 「池月」は詐称になる。馬は前脚のつまさきから

原に着いた。 郎、猪俣小平六(武蔵七党)らを先手とする三万五千 次郎、一条次郎、板垣三郎(以上は甲斐武田一族)、稲 手の二軍に分かれて都を目指した。大手の大将軍 余騎が続々と東海道を上り近江野路(草津市)の篠 毛三郎、榛谷(はんがい)四郎(桓武平氏傍流)、熊谷次 頼が任命され、それに武田太郎、加賀美(原本は「鏡」) には「生好きの沙汰」に書かれたように蒲冠者範 木曾義仲を攻める関東軍は尾張国から大手・搦

平氏系の畠山庄司次郎、梶原源太、佐々木四郎、 ら二万五千余騎が伊賀 (三重県北部) 経由で進んで来 相模の糟屋藤太、渋谷右馬允、平山武者所 (多摩) 武田一族の安田三郎、信濃源氏の大内太郎、桓武 て、木曾軍が固める宇治橋に押し寄せた。 また、搦手の大将軍には九郎義経が当てられ、

ら夜が明けかけて川の朝霧が深く立ち籠め、 あるから比良の高峰、志賀の山などに積もってい えた流れは瀧の様に逆巻き、速さを増した。折か た雪も消えかかり川の水量も少し増していた。 じていた。季節は正月二十日(旧暦)過ぎのことで き、さらに障害物を流して敵の侵入を防ぐ策を講 して川には杭を打ち込み太い綱を張り巡らせて置 水勢が強くなって所々に白波が立ち、浅瀬を越 木曾勢は宇治橋も瀬田橋も掛かっていた橋を壊 **敵**

うし=お坊ちゃま)は河べりに進んで水面を見渡して 搦手の大将軍・九郎御曹司(おんぞ

味方とも馬の姿、鎧武者の影は見え無い。

られた橘の小島)から二騎の武者が馬を全力で駆けさ りました。水源は近江の湖水(琵琶湖)ですから待っ せて出て来た。 鳳凰堂の在る平等院の東北辺に当る中洲(
歌枕で知 を中心とした五百余騎の軍勢を揃えたところへ、 …」と、自分に付いていた武蔵の武士団・丹の党 此の場は先ず私が川に入り浅瀬を確かめてみます 綱は鬼神の様な人物であったから成功したのです。 以仁王が兵を挙げた際の合戦(巻第四)では足利又 された橋を渡れば、敵の思う壺です。治承四年に ても水量が減ることは無くて、そうかと言って壊 を出る前にも此の川のことは作戦会議で議題にな と言えば、二十一歳の畠山重忠が進み出て「鎌倉 か、又は水流が減るのを待つべきであろうか?」 から部下の戦意を確かめようと「どうであろう。 太郎忠綱が一騎も損なわずに渡河しましたが、忠 (此の急流を避けて)淀か一口(いもあらい)へ迂回すべき

踏ん張り、手綱を馬の「たてがみ」に置き、腹帯 うかと思い、左右の鐙(あぶみ=騎手が足を置く場所)を び)が緩んでいるように見えるので締めた方が良 梶原に「此の川は西国一の大河と聞く。腹帯(はる 狙っており、スタート地点で梶原は佐々木よりも 綱である。傍目には分からないが二人は先駆けを を締め直した。 十メートルほど先を走っていた。其処で佐々木は いのでは…」と声を掛けた。言われた梶原は、そ 一騎は梶原源太景季、もう一騎は佐々木四郎高

るって馬の足に絡む綱を斬りほどきながら進んだ。 り入れた。是に気付いた梶原は「謀(はか)られた」 が張ってあるぞ」と忠告した。佐々木は太刀を振 と思い、続いて川に入り「佐々木殿よ。手柄を立 てようと焦って失敗なさるな。河底には防御の綱 その間に佐々木は梶原を追い抜いて川の中へ乗

> 流れの速さを物ともせず、一文字に渡河して対岸 に上がった。一方、梶原が乗って摺墨は少 天下第一と称された馬に乗った佐々木は宇治川 に押し流されたが、是も対岸に上陸した。 佐々木は鐙に足を踏ん張り大音声で名乗った。

思う者は、此の高綱に組んで参れ!」 名乗りながら敵陣に向かって行く。それを追う

男、佐々木四郎高綱が宇治川の先陣である。我と

「宇多天皇から九代の後胤、佐々木三郎秀義の四

から上陸したところ、其処に浪と漁類の模様で飾 名乗りを上げた。この状況を見ていた敵も味方も 蔵国の住人・大串次郎重親、宇治川の先陣…」と のか…」と叱りながら大串をぶら下げて岸に投げ と言う。重忠は「お前は、何時も私に助けられる りを務めた大串次郎と言う武蔵七党の武士である。 うとすると後方から誰かが引き止めるようにした。 馬は即死状態である。畠山は馬と共に水中に倒れ 郎が放った矢が畠山の乗る馬の頭部に命中した。 敵は対岸に構えていて攻撃する。木曾軍の山田次 馬に黄色い鞍を置いた武者が向かって来たので った直垂に緋色の胴衣で武装し白地に斑紋のある 上げた。大串は投げられた態勢を立て直すと「武 てしまい泳いだのですが力尽きてしまいました」 せるのを避けて一旦は水底に潜り、対岸に揚がろ たが弓を杖に起き上がる。川波が兜の先に押し寄 ように畠山重忠の率いる五百余騎が渡って来たが 「そうです」と言ったのは畠山が成人式で親代わ 度に笑いだした。畠山は予備の馬に乗り換えて 「誰だ!」と問えば「重親」と答える。「大串か?」 「如何なる人か名乗り給え!」と声を掛けた。 大串は畠山重忠の傍に寄り「急流で馬を流され

重綱」と名乗った。 畠山は 「(良い敵である) 今日の合 相手は「木曾殿の家の子(身近な家臣)長瀬判官代

鞍に付けさせた。から、持ち運びが重いので家臣の本田二郎の馬のから、持ち運びが重いので家臣の本田二郎の馬のにして相手に組み、馬から引き落とし首を斬って戦の軍神に (音を) 供えよう」と、馬を並べるよう

って攻め込んだのである。

河原合戦(かわらかっせん)のこと

二陣・梶原源太景季」と書かれていた。 に対して頼朝は先ず「佐々木四郎高綱、の使者に対して頼朝は先ず「佐々木高綱はどうでの使者に対して頼朝は先ず「佐々木高綱はどうでのするに対して頼朝は先ず「佐々木高綱はどうであった?」と質問したので「宇治川を真っ先に渡あった?」と質問したので「宇治川を真っ先に渡あった?」と答えた。使者が持参した合戦の記録を開いて見ると「宇治川の先陣・佐々木四郎高綱、を開いて見ると「宇治川の先陣・佐々木四郎高綱、を開いて見ると「宇治川の先陣・佐々木四郎高綱、原本の書き出しに「戦さ敗れにければ=合戦に

すがるしか手段が無い。木曾義仲は御所の門前まするため後白河法皇の居る六条院へ駆け込んだ。するため後白河法皇の居る六条院へ駆け込んだ。するため後白河法皇の居る六条院へ駆け込んだ。するため後白河法皇の居る六条院へ駆け込んだ。一方、木曾義仲のほうは宇治と勢田の両陣が破一方、木曾義仲のほうは宇治と勢田の両陣が破

で来たが、鎌倉勢が既に都に入って来たと聞いたで来たが、鎌倉勢が既に都に入って来たと聞いたするので是と言って法皇に報告も出来ず引き返した。ので是と言って法皇に報告も出来ず引き返した。ので是と言って法皇に報告も出来ず引き返した。な家光が新人で恋愛関係の事情を知らないから太家光が新人で恋愛関係の事情を知らないから太家光が新人で恋愛関係の事情を知らないから太家光が新人で恋愛関係の事情を知らないから太家光が新人で恋愛関係の事情を知らないからない。

世後中太は「待ち切れないから、御先に失礼し 越後中太は「待ち切れないから、御先に失礼し で死出の山でお待ちします!」と、その場で切腹 で死出の山でお待ちします!」と、その場で切腹 で死出の山でお待ちします!」と、その場で切腹 で死出の山でお待ちします!」と、その場で切腹 で死出の山でお待ちしれて知った 強勢、一次 では でいます に で は で が ら こ い に で が ら に で が ら こ い に で が ら こ い に で が ら こ い に で が ら に が ら に で が ら に で が ら に で が ら に で が ら に で が ら に か ら に か ら に か ら に が ら に

(「木曾最後」の章段に移る)

一方、鎌倉勢の大将軍である九郎義経は、後白一方、鎌倉勢の大将軍である九郎義経は、後白一方、鎌倉勢の大将軍である九郎義経は、後白一方、鎌倉勢の大将軍である九郎義経は、後白一方、鎌倉勢の大将軍である九郎義経は、後白一方、鎌倉勢の大将軍である九郎義経は、後白一方、鎌倉勢の大将軍である九郎義経は、後白一方、鎌倉勢の大将軍である九郎義経は、後白一方、鎌倉勢の大将軍である九郎義経は、後白一方、鎌倉勢の大将軍である九郎義経は、後白一方、鎌倉勢の大将軍である九郎義経は、後白一方、鎌倉勢の大将軍である九郎義経は、後白一方、鎌倉勢の大将軍である九郎義経は、後白一方、鎌倉勢の大将軍である九郎義経は、後白

鎧を着用し、鍬形 (くわがた=古代のクワの形) の前飾り 強打したけれども、その痛さを忘れて報告した。 朝が舎弟、九郎義経が参上した。此処を開けられ 降り扉を叩きながら大声で「東国から前兵衛佐頼 わらないうちに九郎義経が門の前に来て、馬から れが大将軍の印のようであった。 部には三センチ程の紙を左巻きに巻いていた。そ 刀を帯びて背に斑紋の鮮やかな矢を負い、弓の上 を付けた兜を被り黄金造り(飾りに黄金を使った)の太 の直垂に紫色を徐々に変化させて染め抜いた錦の 所内に招くように言われた。義経の装束は赤地錦 近道をして垣を越えようと、飛び降りた際に腰を よ!」と申し入れたので、成忠は嬉しさの余りに 入りした鎌倉の軍勢かも知れません…」と言い終 には木曾勢が付けた笠印が有りません…本日、都 少し経って成忠が気付き「只今やって来た武 法皇は大いに喜ばれ門を開かせて九郎義経を御

になって(直接に見れば良いのに格好をつけで)「頼もしい後白河法皇は其の様子を中門の格子窓から御覧

ましい限りであった。 色は様々であったが、 乗った。 郎高綱」「渋谷右馬允(うまのじょう) 重資」 と順に名 武者どもである。名乗らせよ…」と、 言ったので「大将軍、 「畠山庄司次郎重忠」 源義経以下六人の武士は、 九郎義経」「安田三郎義定 その面魂はいずれ劣らず勇 「梶原源太景季」「佐々木四 着用した鎧の

と自信たっぷりに申し上げた。 流の方に落ちて行きましたので我が軍の兵に追わ る為に参りました。木曾義仲は加茂川の河原を上 として主だった武将たち三十四人、其の勢力六万 とを聞いて頼朝は大いに驚き、範頼、義経を始め び寄せ、合戦の様子を詳しく申し上げるように言 せました。今頃は討ち取っていると思います…」 の敵を攻め落としてから、先ずこの御所を守護す から回りましたが未だ到着せず、此の義経は宇治 余騎を集めて鎮圧に向かわせました。 ったので義経は畏まり「義仲が謀反を起こしたこ 寝殿造りの廂(ひさし)に造られた部屋の庭先に呼 大膳大夫成忠は法皇の仰せを受けて九郎義経を 範頼は瀬田

護せよ」と命じたので、義経は畏まって四方の門 を手勢で警護している中に源氏軍の兵が集まって も知れないから、其の方らは此の御所を十分に守 ある。木曾の残党が攻め寄せて来て乱暴を働くか 法皇は安心して急に偉そうになり「誠に神妙で 其の数は一万騎ほどになった。

いった。当然ながら討たれそうになる危機を何と ので「それならば!」と鎌倉勢の大軍に突入して ていたのだが、既に義経が御所を抑えたと聞いた 自慢の者 (労働に従事する下級の僧兵) 二十人ほどを揃え 力を回復しようと全く他力本願のような思惑で力 は法皇を人質にして西国へ逃れ、平家と共同で勢 方で木曾義仲のほうは、敗北するような場合

http://www.furusato-kaze.com

編集事務局

T315-0001

Tel

24 - 2063

(白井啓治方)

2

か駆け破って僅かの供と戦場を脱した。

渡り大津へ抜ける粟田口から山科に行く松坂にさ 引き返しながら戦ったが味方は極めて少ない。 う」と加茂川沿いに身を隠しながら進んで行くと、 無念で有る。もう一度、今井の行方を探してみよ 今井(家臣で有り共に育った友の今井四郎兼平)を瀬田に向 がら「この様な事態になることが分かっていれば れでも敵の大軍を五、六度も追い返して加茂川を 六条河原と三条河原の間で敵の大軍に遭遇した。 かわせるのではなかった。 しかかった。 一緒、 既に敗北は目に見えている。義仲は涙を流しな と誓っていたのに、 別々に討たれることが 幼年時代から死ぬ時は そ

日を過ごす旅の空も闇の中になることであろう。 余騎を数えたのに今日は山科の四の宮河原を過ぎ て落ちて行く主従は僅か七騎になってしまった。 思えば去年、信濃を出立した時には兵力も五万 是では余りにも少な過ぎて冥土の入口で四十九

るさと風の会会員募集中

当会では、「ふるさと(霞ヶ浦を中心とした周辺地域)の歴史・文化の再発見と創造を考える」 仲間達を募集しております。

自分達の住む国の暮らしと文化について真面目に考え、声高くふるさとを語り、考える方々の 入会をお待ちしております。

会の集まりは、月初めに会報作りを兼ねた懇親会と月末に雑談:勉強会を行っております。 会費は月額 2,000 円。 (会報印刷等の諸経費)

※入会に関するお問い合わせは下記会員まで。

啓治 昇三 0299-22-4400 白井 0299-24-2063 打田 伊東 弓子 0299-26-1659 0299-26-7178